

創立120周年記念事業募金御礼

Empowering Women since 1900

津田塾大学



津田塾大学創立 120 周年記念事業募金への御礼

2019 年度より開始しました創立 120 周年記念事業募金は 2024 年 3 月末をもって終了いたしました。この間、多くの卒業生、企業の皆様にご支援を賜りました。ここにあらためて感謝申し上げます。

2017 年に本学が掲げた“Tsuda Vision 2030”のモットーは「変革を担う、女性であること」。ミッションステートメントは、「弱さを、気づきに。強さを、分かち合う力に。不安を勇気に。逆境を、創造を灯す光に」です。

コロナウィルスによる感染拡大は、本学も大きな危機に直面しました。それはまさに、ミッションステートメントに基づいて、直面するさまざまな問題を乗り越えなければならない試練の時でもありました。

少人数教育をモットーとしてきた本学の教育の基本を維持しながらの遠隔教育実施には苦心しました。しかしながら、開学以来の伝統「教師の熱心さ」により、在学生から満足度の高い評価を得る授業を実施することができました。一方、本学に一度でも足を運んでもらえたならば「ここで学びたい」と受験生に思ってもらえたその機会が、なかなか持ってもらえなかったことは大きな痛手でした。

そのような状況のなか、創設者津田梅子の生誕 160 年にあたる 2024 年 7 月 3 日に、津田梅子の肖像が新しい 5000 円紙幣の肖像となりました。新しい肖像となった選定理由のひとつは、「日本国民が世界に誇れる人物で、教科書に載っているなど、一般によく知られていること」。新しい肖像となった 3 氏について、「それぞれの分野で傑出した業績を残すとともに、長い時を経た現在でも私たちが課題としている新たな産業の育成、女性活躍、科学の発展といった面からも日本の近代化をリードし、大きく貢献した方々」と説明がされました。(財務省の発表、国立印刷局のウェブサイトなど)

この新札発行を機に、津田梅子について多くの方が関心をもってくださることになりました。本学への訪問者も増え、また、学外で津田梅子についてお話すること津田梅子を支えてくださった方々についてお話をする機会も増えました。一方、活躍する卒業生のお話を伺ったり、対談の場を持つ機会にも恵まれました。そうしたなかで、学ぶことを真摯に行ってきた本学の伝統が多くの卒業生の中に脈々と引き継がれ、母校によって培われたその力をもとにそれぞれの分野で活躍されているそのお姿を拝見することは大きな力となりました。女子大学の置かれている状況は厳しいと言われておりますが、卒業生の方々の経験に基づいた力強い言葉に触れるたびに、津田梅子からの伝統が引き継がれ、これからも続いていくであろうとの思いに至ります。

本学の卒業生は総数で 3 万 7 千人ほどです。この小さな集団がこれまでになしてきたことは本学の誇りです。今後とも変わらぬご支援をよろしくお願い申し上げます。今後、125 周年記念事業募金を企画して参りますので、広く事業趣意にご賛同頂ける方々のご支援をお願いいたします。

2024 年 12 月

津田塾大学学長 高橋 裕子



本学に 5000 円紙幣 (記番号 AA0000003AA) が贈呈されました





創立 120 周年記念事業募金

創立 120 周年記念事業募金は 2024 年 3 月 31 日をもって終了いたしました。これまでにいただきました寄付金額は、3,363 件 636,364,361 円となりました。たくさんのご支援に厚くお礼申し上げます。

ご支援いただきました募金は、コロナ禍により当初予定より遅れましたが創立 120 周年記念事業で計画していました 4 つの事業（①女性のキャリア支援 / インクルーシブ・リーダーシップ育成事業、②理系教育（サイエンス・マインド）強化事業、③国際化推進事業、④「英語の津田」のさらなる強化事業）などに使わせていただきましたので、ここにご報告申し上げます。なお、この各事業への使途額につきましては、コロナ禍により計画が後倒しとなった新寮建設など、今後の使用計画に向けての繰越金も含まれております。

① 女性のキャリア支援 / インクルーシブ・リーダーシップ育成事業

- ・学外学修・キャリアセンター支援強化 27,075,192 円
- ・研究者・次世代研究者の育成支援強化 2,571,868 円
- ・連携推進センター支援強化 6,957,833 円
- ・女性研究者支援センター及びダイバーシティセンター・フォー・インクルーシブリーダーシップにおける支援事業 1,476,738 円

② 理系教育（サイエンス・マインド）強化事業

- ・数理・データサイエンス・AI 授業の再整備・通信設備強化 9,975,200 円
- ・数理・データサイエンス・AI 授業の環境強化（施設等）への繰越金 300,000,000 円

③ 国際化推進事業

- ・留学支援・学生英語力強化・体制強化 16,667,831 円
- ・国際交流を推進する環境整備（施設等）繰越金 231,750,355 円

④ 「英語の津田」のさらなる強化事業

- ・英語で学ぶ授業及び英語力強化支援 12,039,014 円
- ・ライティングセンター支援強化 8,932,631 円

⑤ その他

- ・イベント等記念事業関連費用 18,917,699 円

合計 636,364,361 円



津田梅子の小袖修復プロジェクトで修復された「津田梅子の小袖」

「②理系教育（サイエンス・マインド）強化事業」における「数理・データサイエンス・AI 授業の環境強化（施設等）への繰越金」3 億円につきましては、学部再編による理系学部の設置に伴い、2027 年度末を目標に建設予定である新 2 号館（仮称）の建設費用の一部として活用させていただく予定です。

また、「③国際化推進事業」における「国際交流を推進する環境整備（施設等）繰越金」231,750,355 円につきましても、新たに建設予定の新寮を国際交流の場として活用予定であり、その資金の一部として活用させていただく予定です。

なお、創立 120 周年記念事業募金最終報告書及び皆様からいただきましたご寄付の 2016 年度からの総額をお名前とともにご報告させていただく『ありがとうの花束をⅡ』を、後日改めてご案内いたします。



銘板について

趣意書でご案内しましたとおり、寄付者ご芳名を銘板に残させていただきます。銘板は、本館 1 階北玄関（食堂側）の入口に設置する予定です。記載させていただくご芳名は、特にお申し出の無い限り、卒業生はそのお名前を、在学生など卒業生以外の方はお申込みされた方のお名前となります。

記載を希望されない方やお名前を変更される場合は、お手数ですが経理課までご連絡をお願いいたします。なお、既にお申し出をいただいている場合は、ご連絡の必要はございません。



4つの記念事業

1 女性のキャリア支援 / インクルーシブ・リーダーシップ育成

低学年対象のキャリア授業や学年・学科を問わずに誰でも参加できるセミナー等、年間を通してさまざまなガイダンスを実施しました。キャリア支援環境を充実させ、満足度の高い就職実績を残しました。インクルーシブ・リーダーシップ育成事業においては、全学的に推進された研究プロジェクトで得られた知見を、広く学外に向けて発信しました。また連携推進センターの支援を強化し、学生が社会の多様な方々と出会い、活動を行う機会を創出しました。

2 理系教育強化事業

本学は 2022 年度の文部科学省「数理・データサイエンス・AI 教育プログラム（リテラシーレベル）」に認定され、これまでに 372 人の学生がこのプログラムを修了しました。2023 年度には総合政策学部が同プログラムの「応用基礎レベル」の認定も受けました。2028 年度開設予定の「国際数理データサイエンス学部（仮称）」に向けてこの分野を一層強化していきます。これらのプログラム強化のため、この分野の科目を新設・強化しました。また、無線 LAN アクセスポイント増設するなどインフラも増強しました。

3 国際化推進事業

国際化推進のための講演会を開催したほか、長期留学に向けてハイレベルな語学力を必要とする学生を対象にした英語力強化プログラムの実施や、奨学金の支給により、グローバルに活躍する人材育成支援を行いました。また、留学促進や学内の国際化推進のため、国際センターウェブサイトの全面リニューアルを行いました。

4 「英語の津田」のさらなる強化事業

英語のクラスについては、能力別クラス編成を行い、きめ細かな対応を行っています。一方「英語で行われる科目」を拡充し「統計学」の基礎を英語で学ぶ科目を新設しました。また、ライティングセンターではネイティブ教員による作文指導等を通して、さまざまな場所で学生が活躍できる英語力サポートを行っています。また、総合的英語力の強化のため、各自のレベルに合わせた学習が可能な e-learning を導入し、活用しています。

その他

1. 津田梅子スピーチ CD リニューアル版制作

創立 100 周年記念事業で制作された津田梅子スピーチ CD について、ブックレットに梅子の卒業式スピーチの新しい日本語訳と解説を収録したりリニューアル版を制作しました。

2. ドキュメンタリー映画「夢は時をこえて」DVD 版制作

創立 100 周年記念事業で制作されたドキュメンタリー映画「夢は時をこえて - 津田梅子が紡いだ絆」について、DVD 版の制作を行いました。

3. 津田梅子の小袖修復

1871 年 12 月、津田梅子が岩倉使節団とともに横浜からアメリカへ向けて旅立った際着用していた小袖を女子美術大学染織文化資源研究所の全面協力により修復しました。

4. 守屋多々志氏による屏風絵の複製

小平キャンパスの 5 号館に展示されている守屋多々志氏によって描かれた屏風絵「アメリカ留学 - 津田梅子」の高精細な複製を作成し、千駄ヶ谷キャンパスに設置しました。

5. Diversity of Our Lives 120 通りの私たちの生き方

21 世紀を生きる女性達のロールモデルとなる卒業生を 18 の文字でカテゴリー分けし、それぞれの生き方や考え方を紹介しました。

6. 120 周年記念イベントの実施

創立 120 周年記念事業のイベントとしてさまざまな対談を実施しました。



創立 120 周年記念国際化推進事業 UNHCR ウクライナ事務所職員 VARTAN MURADIAN 氏講演会の様子



創立 120 周年記念事業 新札発行記念シンポジウムの様子



詳しくは 120 周年記念サイトでご覧ください。

<https://120th.tsuda.ac.jp/>